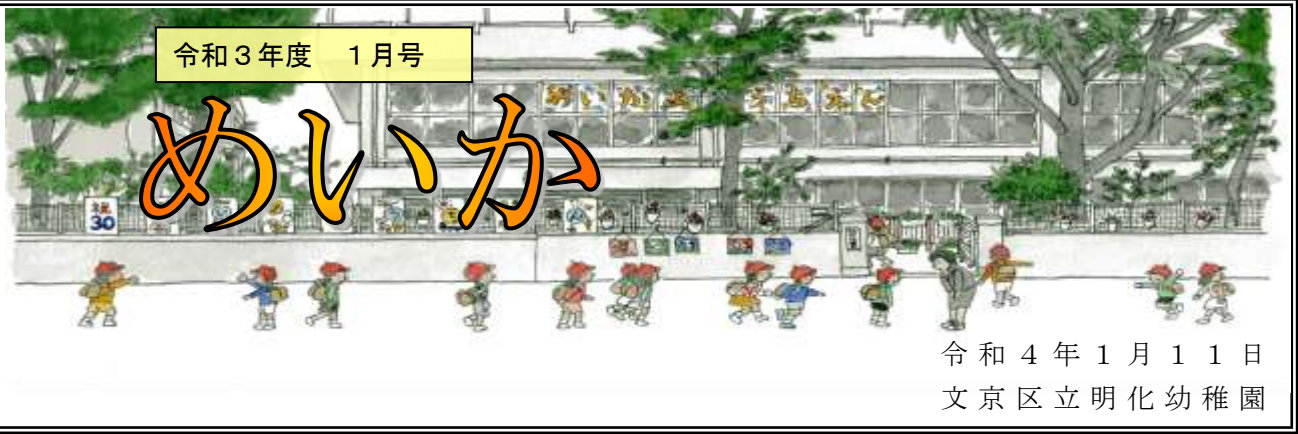


令和3年度 1月号

めいか



令和4年1月11日
文京区立明化幼稚園

おおきくなるって ということは

園長 野田久美子

新しい年を迎えました。東京のお正月は穏やかな天候でしたが、皆様いかがお過ごしでしたか。

3学期は、子どもたちが入学・進級を意識しながら大きく成長する時期です。私たち教職員も気持ち新たにスキルアップできるよう磨きをかけていきたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

おおきくなるって ということは ようふくが ちいさくなるってこと
おおきくなるって ということは あたらしいはが はえてくるってこと
おおきくなるって ということは あんまり ないってこと
おおきくなるって ということは まえより たかいところに のぼれるってこと
おおきくなるって ということは たかいところから とびおられるってこと
それもそうだけど とびおられても だいじょうぶかどうか かんがえられるってことも
おおきくなるって ということ
おおきくなるって ということは おもしろいことが どんどんみつけれられるってこと
おおきくなるって ということは じぶんより ちいさなひとが おおくなるってこと
おおきくなるって ということは ちいさいひとに やさしくなれるってこと
おおきくなるって ということは そういうこと

『おおきくなるって ということは』より一部抜粋 中川ひろたか・文／村上康成・絵／童心社

子どもは、どんな時に「大きくなった」と思うのでしょうか。身支度が一人でできた、コマが回せるようになったなど、具体的な場面で感じるのではないのでしょうか。私たち大人は、結果だけではなく、子どもが伸びようとしている「力」や目に見えない「心」の成長を支えていきたいものです。そのために、その子のもっている力や個性に合わせて、今は見守った方がいいのか、やり方を伝えた方がいいのか、少し失敗をさせた方がいいのか、頑張りを認めた方がいいのか、などと考えながら相手に合わせて成長を促していくことが大切です。

幼稚園では、それぞれの学年に合わせて挑戦できる環境を整え、自信につながる援助を行ってまいります。

保護者、地域の皆様には、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、お願いいたします。



雪景色の幼稚園屋上